

JD Farag 牧師 中東アップデート 2017年11月5日公開**究極の嘘**

今日は、ニューヨークで火曜日に起こった、イスラム国によるテロ攻撃について、お話したいと思います。今回のこの攻撃が、流れを変えるタイプのものである事を、検証していきます。今回の件はある意味、ある程度、人間の思考の中での戦い、つまり、イスラムに関する考え方などにおいて、サタンが勝利している事を示唆しているようにも見えます。といっても、終わりに悪が勝利する、と言っているのではないことを、どうかご理解ください。サタンが、打ち負かされた敵である事は、私たちの知っているとおります。しかしながら、終わりの時までには、悪魔が勝利しているように見せかける事が、許されているのです。神は、最後に神の目的を果たす為に、これを許しておられます。「悪魔は、神の悪魔である」と言われるように、神の許しが無い限り、悪魔には何も出来ないのです。

ヨブに聞いてみてください。サタンは、まず神の許可を得なければ、ヨブの頭の毛一本でさえ、触れることが出来ませんでした。神が、サタンにそのようなことを許可されるのは、最終的に、神の目的を成就させる時だけです。ペテロが、主に対して叱責した時のことを考えてみてください。主が、十字架にかかると言われた時、ペテロがイエスに言いました。「それはない！」「私がついています！」と（マタイ 16:21-23）。それに対して、イエスが言われたのは、「下がれ、サタン」。主はペテロにそういわれたのです。「下がれ、サタン？」どういう意味ですか？神は、サタンが世の救い主を十字架にかけさせる事を、許可されたのです。それが、最終的に神の目的を果たし、終わりの時の、人間の救いの計画を成就させるからです。悪魔は、神の悪魔です。

それから、どうか、サタンが神の反対であるなんて、一瞬たりとも考えないでください。彼は違います。彼も被造物であって、唯一まことの生ける神の御心に従わされるのです。だから、サタンは、神の目的を果たし、神の計画を成就しない事に対しては、神は絶対に許可されません。

それでも、まだ私たちには問題があります。その問題とは、この崩壊した世において、戦いは激しさを増してきて、それは霊的領域での、霊的戦いです。私たちの格闘は、血肉に対するものではありません。ムスリムたちは、敵ではありません。ムスリムたちは、ミッションです。私たちの格闘は、血肉に対するものではない。私たちの格闘は、人に対してではありません。主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、天にいるもろもろの悪霊に対するものです（エペソ 6:12）。そして、現在起こっているのは、悲しい事に、この霊時戦いの被害者が、増大している事です。それも、日毎に増しているように見えるのです。そして私たちは、現在進行形でそれを目撃しています。それは、「9・11以降、ニューヨークで起きた、最悪のイスラムテロ攻撃」と呼ばれる、このテロの後、特にです。

何が驚いたかと言うと、木曜日、私にとってもすごい衝撃だったのは、これに関する報道を見ながら、というよりも、これに関する報道が少ないのを見ました。翌日、この「9・11以降、ニューヨークで起きた最悪のイスラムテロ」の48時間後には、もうすでに、何か他のものへと移っていたのです。そして、もう、これについては一切話しません。では、何が起こったのか？

今回は、何か別のものです。9・11との違いとは、あれから16年が経ち、「これらの攻撃は、イスラムとは一切関係ない」という解説です。これは、私が言った「人間の思考の中での戦いに勝利している」の意

味です。戦場はここ、頭の中です。思考の中が戦場なのです。私はこれこそが、サタンの主要策略の一つだと思っています。私の書齋にある、Warren W. Wisersbe 著の、「The Strategy of Satan (サタンの策略)」これは必読です。中でも、この本に書かれている、ある質問に対する著者の答えです。

「どうしてサタンは、私たちの思考を攻撃するのか？」一部、引用します。彼の答えを、よく聞いてください。

——サタンが、あなたの思考を攻撃するのは、それが、神の似姿の一部であり、神が、それを通してあなたと意思の疎通を行い、あなたに、主ご自身を明らかにされるからです。残念なのは、(私も同感です)クリスチャン達が、思考の影響を過小評価している点です。聖書は、その重要性を強調しています。——

私には、こう聞こえます。クリスチャン達は、キリストの事になると、知性を抹殺してしまっている。私たちは、神から与えられた知性があるのです。私たちは、神から聡明な脳を与えられているのです。それから、思考も神が与えてくださいました。

*“心を尽くし、**思い**を尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。”*
(ルカ 10:27)

そして、サタンはそれを知っているのです。私たちの戦場である思考に入り込めば、私たちをものに出来る、と。彼が、私たちをものに出来るのです。著者は続けて書いています。よく聞いてください。

——もしサタンが、あなたに嘘を信じ込ませる事が出来たなら、サタンは、あなたの人生に入り込み、罪へと導く事が出来るのです。だから、彼は思考を攻撃するのです。だからこそ、私たちは、悪から私たちの思考を、守らなければならないのです。——

そして彼は、箴言 23:7 を引用して、こう書いています。

——「彼は、その欲望が示すとおりの人間だ。(箴言 23:7a 新共同訳)」——

“欲望が示すとおり”です。そして、彼は言います。

——あなたの思いは、あなたの感情と思考に影響を及ぼす。「欲望が示すとおりの人間」、これが真実です。——

私が、毎週この預言アップデートをする主な理由は、ここにあります。嘘の世にあって、真理の御言葉について宣言し、伝える為です。特に、現在世界で起こっている、イエス・キリストがすぐにも教会を携挙する為に戻って来られるという事を、指し示している出来事に関する嘘です。それは何かと言えば、今日、私たちが話しているその祝福された希望に、私たちがさらにどれほど近づいているかという事です。この火曜日のイスラムテロ攻撃、さらに言えば、火曜日以降の様は、何らかの形でアメリカの運命を決定づけた、と私は思っています。ここで、これは少々きつい言い方、もしくは扇情的に聞こえる可能性がある事は、私も理解しています。そこで、私がなぜこう考えるに至ったかを、説明したいと思います。まずは、全ての始まり、火曜日の朝の出来事からです。Fox ニュースで報道される前に連絡をくれたのは、オンラインメンバーであり、私の友人でもある Mark Torrey 兄です。今年の9月に、私がニューヨー

クを訪れた際、彼に会いました。彼はニューヨーク市警の爆弾処理班のトップです。



この写真の帽子をかぶっているのが彼で、市長と知事に、急展開の状況を説明しています。これは、テロ攻撃の約2時間後の事です。もちろん、公にされるまで、彼は全てを私に教える事は出来ませんでした。その間に、彼は、アラブ語で書かれた紙を発見しました。その中で犯人はイスラム国に忠誠を誓っているのです。詳細が明らかになるほど、それがイスラム国による攻撃である事に、疑いの余地は無くなり

りました。どうか、どうかお願いします。これが、一匹狼の攻撃だ、などと言う嘘を、信じないでください。お願いします。これは、イスラム国の攻撃です。この、ムスリムテロリストは、アラブ語で「アッラー・アクバル」と叫びながら、8人を殺害、多数を負傷させたのです。

ところで、またしても言わざるを得ませんが、この違いを理解しておくのは非常に重要です。それによって、全てが変わってきますから。アラブ語で、「アッラー・アクバル」の意味を説明します。アッラーは、「神」とは言わないでください！アッラーとは名前であって、敬称ではありません。これは、アラブ語で「アッラーは偉大だ」という意味ではありません。この意味は、「アッラーは“もっと”偉大だ」という意味です。「もっと偉大だ」です。「もっと高い」とも言えます。では、どうしてこれが、その形相を変えるのでしょうか？それは、誰より「もっと高い」のか？どの神より「もっと偉大」なのか？ルシファーが自分を高めて言ったことに、なんとなく似ていませんか？

“私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、——”（イザヤ14:13）

もっと高く、もっと偉大に＝アクバル。私は子供の頃によく、祖父と一緒にヨルダンのゲームで遊びました。祖父が私に勝つたびに、ほとんどの場合祖父が勝ったのですが、その度に祖父は、「アナ アクバル」と言ったのです。「私の方が高い。」「私の得点の方が高い」「アクバル！」と。祖父はこの言葉を使ったのです。考えてみてください。祖父は、「私の得点がすごい！」と言ったのでしょうか？違います。「私の得点の“方が”すごい！」です。これですべてが変わる事が、分かりますか？



さて、救急隊員たちの事を、神に感謝します。ニューヨークの高潔な人達、彼らは真の英雄です。彼らは、迅速かつ英雄的に行動し、間違いなく、数えきれないほどの人達の命を救いました。

Torrey 警部補が送ってくれた次の写真に、私はしびれました。これこそが英雄のひざまずく姿です。こんな言い方をして申し訳ないですが、これこそが、デモを行わせるために何億ドルとつぎ込んで、それを楽しんでいる者たちを辱める姿だと思えます。本当に恥ずべき事です。NYPD（ニューヨーク市警）に対し

ただでなく、ここ地元ハワイ市警に対しても、それから、全て制服を男女に、公に感謝の気持ちを表し

たいと思います。自分を投げ捨てて、私たちの国を守ってくださっている方々に、私たちは心から感謝します。

さて、公平に扱うために、ビル・デ・ブラシオ市長とクオモ知事が、最初の記者会見で救急隊員について触れ、彼らに謝辞を述べた事は、評価しなければなりません。しかしながら、その後すぐに、トランプ大統領のツイートに対して、デ・ブラシオ市長は、「あれは、ポリティカルコレクトだ。」と言いました。彼がそう言うのは、予想通りです。そして以前にもお話ししましたし、驚くに値しませんが、彼は言いました。「イスラム教をひとくりにして…」彼の発言を引用します。

——私たちが何よりも避けなければならないのは、人種、宗教、国々をひとまとめにして、まき散らすこと。これは、状況を悪化させるだけだ——

彼は続けて、全てのイスラム教徒を、過激派だと偏見の目で見ることに対して、警告しながら言いました。——それを一般化した瞬間から、特に、宗教全体に対して、完全に負のイメージを植え付けることになる。それは何よりも私たちの敵の多くが好む事であり、テロリストは、この国は反イスラム国家であると主張したいのだ。——

では次に、なぜ、私はこれをお話したか？それは、先ほどお話しした、「この攻撃は、イスラムとは一切関係ない。」と言う嘘を、市長がさらに促進しているからです。そして、これがまさに、テロのニュースが流れた数時間後に、MSNB のテロ分析家、Malcolm Nance が発言した事だからです。彼の発言をそのまま引用します。

——皆さんが目にはしているのは、全くイスラムではありません。——

これは、MSNB のテロリスト分析家ですよ。冗談でしょ？

思い出すのは、バラク・フセイン・オバマが言った発言です。引用します。

——イスラム国は、イスラムでも無ければ、国でもない。——

なら、彼らは何？モルモンですか？

分析家の引用を続けます。

——皆さんが目にはしているのは、全くイスラムではない。自分を犠牲にし、テロ攻撃の最後に殺されることの、どれ一つとして許されることではない。そのどれ一つとしてイスラムではない。これは、反イスラムだ。——

これで足りなければ、彼はさらに踏み込んで言いました。

——クリスチャンでさえ、カナダでは、カトリック教徒が“イスラム教”に改宗し、テロ行為を行った。——

そうですか。

さて、こちら Jews News (ユダヤニュース) の金曜の記事です。題名は、「サプライズ！新しい研究によれば、イスラムテロは、実はイスラムだった！」

良く考えて！いくつか抜粋してみます。よく聞いてください。

——欧米の指導者達は、「イスラムテロと、イスラムとは一切関係がない。」と言うが、2001年の時は、911の直後、当時の大統領ジョージ W・ブッシュが演説で宣言しました。アメリカ合衆国で、3千人以上が殺害されるテロ行為が行われた。これは、『イスラム教の基本的主義と、平和を求めるイスラムを犯すものだ。』と。何百人というムスリム達が、何千人という罪のない市民を爆撃し、刺殺、射殺し、何千人という人を負傷させながら、「アッラーアクバル」と怒鳴っている中で、選挙に選ばれた代表者は、自分たちの理想の現実をしばらく保留して、少しでも自分でコーランを読むべきだ、と考えるのが普通ではないか。コーランの9章5節の命令から読むと良いだろう。そこには、こう書かれている。「不信者を見つけたら、その場で戦い、殺せ。」または8章39節「全員がアッラーの宗教に従い、Fitnah（もしくは紛争）が無くなるまで戦え。」——

へえー！ちょっと待ってくださいよ！私はそこまで勤が鋭い方じゃないので、教えてください。「私たちは皆、同じ神を拝んでいる」とあなた方は言いましたね。けれどもコーランは、イスラム教徒に『すべての人間をアッラーに従わせろ』と命じていると？！私たちはすでに、皆同じ神を拝んでいると思いましたが。なのになぜ、あなた方は私の首を斬ろうとするのですか？それは、「私たちは皆拝んでいる」と、あなた方が言う、その同じ神に私が従っていないからでしょ？

頭がおかしくなりそうですよ。頭の中の格闘と言えば、私たちが狂っていると思わせる者とは、誰ですか？

記事は続きます。

——もし、この質問が行き過ぎているなら、ウィーン大学のイスラム宗教教育、イスラム教神学、Ednan Aslan 教授による、最近の研究を見てみましょう。彼はオーストリア外務省の委託委員だ。——

これはすごいですよ。よく聞いてください。

——研究は、ジハードスト（聖戦主義者）は、欧米の指導者達が表明するようなものでは無い事を証明している。（欧米の指導者達は、）イスラムに関して無知であり、それによって、イスラムを悪用している。——

これは、私たちがずっと耳にしている事ではありませんか？「彼らは、平和を愛する宗教を悪用している？」

——逆に、ジハードストはイスラム神学を、深く理解しているようだ。イスラムテロを、「イスラムについて知識がなく、誤って理解している、不満を抱えた個人の問題だ。」などと言って、問題を軽減する事に対して、Aslan 氏は明確に警告している。——

これは、真実とは全く逆だと言っておきます。これが、真のイスラムです。これはイスラムの悪用でなく、これがイスラムの正しい代表ですよ。事実、彼らが、これに対してどれほど不満に思っているか、想像できますか？「これが、イスラムだ！」と真剣に思わせる為に、テロリストたちが、しなければならない事。

彼らは、毎回「これはイスラムとは、一切関係ない。」という嘘が、繰り返されるのを聞くのです。その事に、彼ら（ジハードデスト）は果てしなくイライラしていると思いますよ。「これこそが、イスラムだ」と、彼らが気づくまで、自分達はあと何回攻撃しなければならないのか？ちなみに、私が引用した、このJews Newsの記事に書かれていた2つの箇所は、コーランに書かれている120以上ある節のほんの2つです。その中の一つは、次のように書かれています。パウロが言っているように、無知にならないでください。

「インファデルの首を斬れ」—どういう意味だか分かりますか？「書の民を斬首しろ！」という意味です。何の書ですか？聖書です。ユダヤ人と、クリスチャンの事です。これが真実です。これが真実。問題は、人々は、イスラムに関する真実を受け入れるのか？それとも、彼らは、これからもイスラムの悪魔的な欺きを続けるのか。私が間違っている事を願いますが、答えは後者だと真に思います。だからこそ、我々が現在、どれほど終わりに近づいているかを、この欺きが示していると思うのです。

では、何故私がこう思うのかを、説明したいと思います。

サタンは、全知でもなく、全能でもなく、偏在でもなく、全ての力を持つていなければ、全ての場所に臨在する事も出来ない。彼は全てを知ってはいません。彼は、神の反対ではありません。彼は全てを知りませんが、次の事を知っています。彼は、自分に残された時間がとても短い事を、良く知っています。だから彼は、どんどん白熱しているのです。彼も、その日その時は知りません。しかし、その時間が近い事を彼は知っているのです。皆さんの、美しいクリスチャン“バブル”を壊してくははありませんが、サタンは、皆さんが知っている以上に、聖書を良く知っています。ちなみに、私よりも良く知っていますよ。そうですね？これについて同感ですか？彼は、聖書を良く知っています。ところで、言っておきますが、彼はどの聖書預言研究者や教師よりも、聖書預言を良く知っていますよ。これは、黙示録12:12の後半です。よく聞いてください。

“しかし、地と海には、わざわいが来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒ってそこに下ったからである。”(黙示録12:12)

彼は自分の時間が短い事を知っているのです。だから、しっかり働かなければならない。そして、彼は実にしっかり働いていると思いませんか？

先ほども言った通り、この預言アップデートの主な理由は、偽りの父である悪魔自身から出る嘘の世界で、真理の御言葉を知らせ、宣べ伝える為です。そして、私が望み祈っているのは、手遅れになる前に、一人でも多くの人を火の中から救い出すために、神がこの預言アップデートを用いて下さる事です。しかし同時に私が恐れているのは、人々が真理を受け入れる代わりに、『嘘』を信じて欺かれ、真理を拒絶する事です。ホセア書4:6の前半にはこう書かれています。

“わたしの民は知識がないので滅ぼされる。”

その理由は、

“あなたが知識を退けたので” (ホセア書4:6)

あなたが真理を退けたから。ヨブ記にはこうあります。

“しかし、もし聞き入れなければ、彼らは槍によって滅び、知識を持たないで息絶える。”

(ヨブ記 36:12)

興味深い事に、“槍によって”、槍です。簡単に言えば、「人々は、真理を聞いたがらず、その為に真理を退ける。そして、真理を退ける為に彼らは嘘を信じる。」という事です。

しかし、ある人々には、これが全く理解できないのです。数週間前、牧師仲間の間で行きかっていたメールにあった話が、真理を退ける事について見事に言い当てていたので、お伝えしたいと思います。このような描写は、私が今まで見たことがありません。最高です。

牧師が4つのビンに、4匹の虫を入れました。



1つ目のビンには、アルコールと一緒に虫が入れられ、2つ目のビンには、タバコの煙と一緒に虫が入れられました。3つ目のビンには、チョコレートソースと一緒に虫が入れられ、4つ目のビンには、清潔な良い土と一緒に虫が入れられました。それから、牧師は次のような結果を発表しました。

アルコールと一緒に入れられた1つ目の虫は、死にました。タバコの煙と一緒に入れられた2つ目の虫も、死にました。チョコレートソースと一緒に入れられた3つ目の虫も、死にました。清潔な良い土と一緒に入れられた虫は、生きていました。ここで、牧師は会衆に向かって質問します。「あなたは、ここからどのような真理を学びましたか？」女性がすぐに手を挙げて言いました。

「お酒を飲まず、タバコを吸わず、そしてチ

ョコレートを食べていれば、虫が付かない。」

私たちは笑いますが、時々、人に福音を伝えていて、こういう事はありませんか？一向に理解しない人。必死で伝えても。牧師として、私はここに立って、理路整然と並べて、皆さんに向かって怒鳴り、叫んで、唾を飛ばして、前列に座っている人には、全員に追加料金なしで洗礼を授けて。それでも、全く聞こえない人達があります。

主の食卓に与る前に、皆さんに真理をお分かちしたいと思います。真理中の真理、真理以外の何ものでもない真理です。それは唯一イエス・キリスト個人にのみある、救いの福音の真理です。彼を通してでなければ、御父に至る道は他にありません。イエスは、

“わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。”(ヨハネ 14:6)

と言われました。真理の一つでなく、【真理】、【いのち】です。そして、

“わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。”(ヨハネ 14:6)

ここで、皆さんにお伝えしたいのは、先週私がお話した、「ロードシップ・サルベージン」で知られる偽教義に関してです。皆さんからいただいたコメントに、とても祝福されました。それについては、今日は詳しくはお話しませんが、皆さんの多くが、私に言ってくださった話に、とても祝福されたのです。

「度々、『十字架の上の盗人』として伝えられている男は、実際、救いのABCを実行したのだ。」という



内容です。そこで、ルカの福音書(23:33-43)を見ながら、この素晴らしい出来事について、復習したいと思います。

皆さんもよくご存知の通り、2人の犯罪人が居ました。私たちは彼らの事を、十字架上の盗人と呼びますが、それが彼らの罪状であったかどうかは、私たちには分かりません。しかし、彼らが十字架刑という死刑に課せられている事から、彼らが重罪を犯したことは分かります。そこに、世の救い主と、もう一人の男も同じ時に、十字架にかかっていました。ここで、彼がしたことは基本的にこの3つです。しかも、実際、この順番通りです。単にそれを行って、彼は救われたのです。それほど簡単なのです。これを見てください。彼は、自分が罪人であり、救い主が必要であることを認めたのです。

“われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだから当たり前だ。”(ルカ 23:41)

報いは、死刑判決です。

“罪から来る報酬は死です。”(ローマ 6:23)

彼は、イエスがご自分の言い表される通りの方であると、心で信じました。彼は、イエスの事をこう言っています。

“この方は、悪いことは何もしなかったのだ。”(ルカ 23:41)

つまり、罪の無い方だ、と。それから彼は、主の御名を呼び求めているのです。どのようにしてか？

“イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。”(ルカ 23:42)

わお！彼がこれを言った時、イエスは何と言われましたか？

「それだけではダメだ！」主は、そんな事は言われませんでした。「先に水の洗礼を受けなさい！」そんな事も言われませんでした。皮肉をお許してください。これを『聖められた皮肉』と呼んでもいいですか？イエスは、「ダメだ！悔い改めろ！」と言われましたか？そうではなく、主は彼に何と言われましたか？「私の後に続けて言いなさい。」それも言われませんでした。「頭を垂れて、目を閉じて！」それに関しては、何も問題は無いのですよ？でも、主はそれも言われませんでした。つまり、救われるための条件や、何かを付け加える事はされなかったのです。

お願いですから、複雑にするのは止めてください！神の愛の為に、お願いします！ABC以外、何も加えないでください！！先週は、「G」を加えた人が居たのです。「Gって何なんだ？！」と思いました。「Repent/悔い改め」の「R」を加える人は居ましたが、「G」って何なんだ？！

「Growth/成長だよ。」と。「成長？！」「何だって？！キリストに立ち返って救われる前に、私は成長しないといけないのか？！」これってまるで、私の大好きな表現ですが、「シャワーを浴びる前に、綺麗にしてください。」と言っているのと同じです。

そうでなく、ただありのままの姿で行くのです。ただ、ありのままの姿で、です。そうすれば、彼があなたを清めてくれます。そして、彼があなたを許してくれるのです。そして彼は、聖霊としてあなたの中に住まわれ、あなたが、清く聖なる生活が送れるように、内外からあなたに力を与えてくれるのです。そういう事です。私たちがしなければならない事など、何もありません。この十字架上の犯罪者である事を、認めなければなりません。彼は、全く無力でしたね？イエスは彼に何と言ったでしょう。彼がイエスに言ったのは、

“あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。”それだけです。そして、イエスは言われました。

“まことに、あなたに告げます。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。”(ルカ 23:43)

だから、「死に際の回心」という言葉があるのです。この表現を聞いたことがありますか？

もう一つ、お伝えしたい事があります。聖書の中にこれが記録されているのは、次のような理由からだと思はれます。神は、この地上で最後の息をつき、主の御前で最初の息をつくまで、イエスを信じて救われることのなかった、私たちの愛する人達に関して、私たちに希望を与えようとされているのだと思うのです。これが、私たちに希望を与えます。そして、私たちにこの素晴らしい記述が与えられているもう一つの理由は、「子どものように、わたしのところに来なさい。」と神が言っておられるのだと、私は思います。「無力のあなたのままで、ただわたしを呼び求めなさい。」「あなたの口で告白し、あなたの心で信じなさい。」「そうすれば、あなたは救われる。」

“主の御名を呼び求めるものは、だれでも救われる。”(ローマ 10:13)

これまでに、一度も主の御名を呼び求めて救われていない人は、お願いします。どうか主の御もとに来てく

ださい。あなたの罪を告白し、自分の罪を認め、あなたには救い主が必要であることを、認識するのです。口で告白し、心で信じるのです。神の聖なる御言葉の權威によって保証します。そうすれば、あなたは必ず救われます。

祈りましょう。

天のお父様。福音を、実に簡単にしてくださり感謝します。とても簡単にしてくださった為、子供にでも理解できます。これが複雑でなく、私たちがあなたの御前に行き、救われる前に、私たちのすべき事が何も求められていない事に感謝します。福音の著者であるルカに、あなたの隣で十字架にかかったこの男、単にあなたを呼び求めるだけで、あなたによって救われたこの男について、書き記すようにして下さい、感謝します。主よ。これまでに一度もあなたを呼び求めた事の無い人が、今日、あなたを呼び求め、今日が、彼らの救いの日となりますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

聖餐式

ルカの福音書 22 章で、私たちが「最後の晚餐」と呼ぶものを行うようにと、私たちには命じられています。これは、神が 10 の災いを持って、イスラエル人をエジプトでの奴隷生活から救い出された、過ぎ越しを記念したお祝いです。傷の無い小羊は、4 日間検査されます（出エジプト記 12:3-6）。それは、イエスが裁判を受けたのと同じ期間で、彼にも罪がなく、傷がない事が認められました（ルカ 23:14-15）。そして 4 日の後、全く同じ時刻にイエス・キリスト個人を指し示していた、この過ぎ越しの預言は、最終的に成就されたのです。過ぎ越しの子羊の首が切られた全く同じ時刻に、彼は過ぎ越しの子羊となりました。彼の体が裂かれ、皮が裂かれました。骨ではありません（ヨハネ 19:33-36）。そして、注ぎ出された血をヒソプの枝に浸し、エジプトに居たイスラエル人の家の門柱に塗りました（出エジプト記 12:7）。死の御使い、死の報酬（“罪から来る報酬は死です”ローマ 6:23）は、家の門柱に十字架の形で血が塗られているのを見ると、彼らを過ぎ越しました（出エジプト記 12:12-13）。初子の死は、神のひとり子として、神が私たちに与えてくださったのです。

“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして滅びる事なく、永遠のいのちを持つためである。”（ヨハネ 3:16）

これが、救いの良い知らせです。悪い知らせは、私たちは皆、罪人として生まれたという事。そして、良い知らせは、私たちは新しく生まれる事が出来るという事。新しく生まれるとは、神の御霊によって生まれるのです。そうして、私たちは神の御国に入ります。神の御霊によって新しく生まれる唯一の方法は、イエス・キリストお一人にある、救いに至る知識、主が十字架で成し遂げてくださった御業を信じるのです。それを、今日私たちは、ここでこの 2 つをもって祝っているのです。その事が書かれた、ルカの福音書を読んでみましょう。

“さて、時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもいっしょに席に着いた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたといっしょに、この過ぎ越しの食事をするををどんなに

望んでいた事か。あなたがたに言いますが、過ぎ越しが神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過ぎ越しの食事をすることはありません。そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時まで、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。私を覚えてこれを行いなさい。」(ルカ 22:14-19)

パンを取ってください。私たちが手にしているのは、私たちの代わりに裂かれた、イエス・キリストの体の象徴です。これは、象徴です。エジプトでの過越しの小羊のように、彼の体は裂かれ、血が注ぎ出されました。彼らにとっての、罪のない小羊の死と同様に、我々にとっては、神の小羊が、人間の罪の為に、1つの永遠のいけにえとしてささげられました。私たちはもはや、動物のいけにえは必要ないのです。イエスがいけにえだからです。

“血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。”(ヘブル 9:22)

という御言葉の要求を、イエスが満たしたからです。だから、彼の血が私たちの代わりに注ぎ出される必要があり、彼の体が裂かれなければ、彼の血が注ぎ出されることはありませんでした。その為に、彼の体は裂かれ、血が注ぎ出されたのです。それを今日、私たちはここで祝っているのです。イエスが、私たちの為に、私たちの代わりにして下さったのです。だから私たちは祝うのです。聖餐の食卓とは、実際、過ぎ越しの祭りなのです。過越しを祝う祭りです。祭りとは、めでたい事、感謝を捧げる時です。木曜の夜、私たちはネヘミヤを学んでいます。神に感謝を捧げる為に、2つの歌うたいが定められています(ネヘミヤ 12:27~)。今、この時期にぴったりじゃないですか。神の民が、神に感謝するように導くよう専念する歌うたい達です。そして12章の終わりには、彼らが喜び賛美する声が、遠くまで聞こえたと書かれています(ネヘミヤ 12:43)。彼らは、大声で神を賛美し、心の底から叫んでいました。神がしてくださった事全てに対して、神に感謝を捧げていたのです。これがお祝いですよ。これが賛美礼拝です。これが、聖餐の礼拝です。神がしてくださった事に対して感謝し、心を注ぎ出す。神があなたに何をしてくださったか、お分かりですか？神が私に何をしてくださったか。彼は、皆さんの為に死に、私の為に死んでくださったのです。

私たちが、共に聖餐に与るにあたって、主の聖なる御名を、賛美しようではありませんか。彼の聖なる御名に栄光あれ！私たちの為に主がしてくださった事、私たちのために砕かれた主の体を覚えて、感謝の心と賛美をもっていただきませんか？共にいただきましょう。

主よ。感謝します。どうすれば、この気持ちを表せるでしょう。ただ「感謝します。」と言うだけでは、全く足りません。しかし、天のこちら側では、これで十分なのでしょう。私たちに与えられた永遠を思って慰めを得て、あなたと共にこれを頂ける事に感謝し、あなたを賛美します。あなたは、これが最終的に成就される時を心待ちにしておられ、私たちもまた、その日を待ち望んでいます。主よ。その日が待ち遠しいです。私たちが、あなたと共にこれを頂く日。私たちにこれをさせ、思い出すようにして下さって、

感謝します。私たちは忘れてしまいますから。主よ、感謝します。

ルカは続けて書いています。

“食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」”(ルカ 22:20)

杯を取りましょう。この杯が象徴するものが、どれほど重要であるか、どのように表現していいものかも分かりませんが、この杯が象徴するものがなければ、私たちに希望は無かった、と言えは良いでしょうか。私たちは絶望的でした。こんな風に言うのは気が進みませんが、言わざるを得ません。私たちは、ただ家に帰りたくて仕方なかったでしょう。これも必要なかった。もし、これが真実でなければ、これには何の意味も無くなります。もし、これが真実でなければ、これは嘘になりますから。今日、私たちがここで言い、祝っている事、人類の罪のために流されたイエス・キリストの血が、もしも真実でなければ、パウロが言ったように、私たちは最も惨めな者だったでしょう。感謝な事に、そうではありません。それは真実ではありません。真実は、イエスが十字架にかかり、自ら私たちの代わりに血を流されたのです。赦すために。罪を取り去るのです。旧約聖書のように、覆うものではありません。それらは罪を覆うだけでした。彼の血による、新しい契約がなされるまでは。以前は、ただ覆われていただけだったものが、今は取り去られました。イザヤが言ったように、東が西から遠く離れているように(詩編 103:12)、主は、あなたの罪を思い出さない(イザヤ 43:25)。この血のおかげです。この血の為に、です。これを祝う気持ちになりますか？共に祝いませんか？共にいただきましょう。

私は、ただ聖餐式を急いで終わらせたくないのです。皆さんも、聖餐式が私と同じくらい大切になって来た、と言ってくれました。祝いたいと思えるもの、心から待ち望むものになったと。私たちには、待ち望むべき事があると思い出させてくれるから。そして、私たちには、このように待ち望む者があると知る事で、何であれ、直面している困難を乗り越えるのが容易になりますね？皆さんが、今どんな困難に直面していようとも、どんな試練にあっても、先に何が待っているかを知る事で。パウロはこのように言いました。

“今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足らないものと、私は考えます。”(ローマ 8:18)

待ちきれません。マラナタ！主よ、早く来てください！

God bless you! キリスト中心の、素晴らしい週をお過ごしください。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に

記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くなれば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオヘ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい